

wakaba

通信

わかば

〔表紙写真〕

「お兄さん、お誕生日おめでとう」

あつとほ一むコモド

お誕生会でのご兄妹の美しい風景



フォトアルバム



あっとほーむ若葉
「ニシケンサンバ」
明るいリズムが大好評



あっとほーむ若葉
「サンター行」
台車でサンタが登場



あっとほーむコモド
「そろわないダンス」
笑いっぱい忘年会



あっとほーむイースト
「楽しんで頂けましたか？」
涙が出るほど大笑いしました



あっとほーむレガレー
「同級生」
いくつになっても仲良く



あっとほーむウエスト
「スイートポテトまた食べよう」
秋の味覚のお取り寄せ企画

認知症の症状をひもとく

「ひもときシート」の活用

あつとほーむ若葉

ショートステイでは、認知症の方にできる限りお応えできるよう「ひもときシート」を活用した認知症ケアの展開に取り組んでいます。

認知症の症状は大きく二つに分かれます。

一つは「中核症状」といわれる認知機能や判断力の低下で、時間や場所がわからない、ものごとがうまくこなせない、言葉が出てこないなどの症状があります。

もう一つは中核症状のため、本人が混乱したり落ち込んだりした結果として起こる「周辺症状（BPSD）」です。心理面では、不安、妄想、睡眠障害など、行動面では、食べ物ではない物を口に入れる、徘徊、暴言、拒絶などが現れます。

これらは、本人を取り巻く環境や人間関係が大きく影響し、個人差もあります。

BPSDが発症する理由を理解し、適切な対応をとることで、本人は穏やかに生活できます。逆に理解されない場合症状は悪化し、介護を困難にすることもあります。

そこでショートステイでは「ひもときシート」を用いた認知症ケアをはじめました。

BPSDはなぜ起こるのか？その理由を住環境や生活障害、不安・喪失感など8つの要因に分けてひも解き、課題を整理することで真の発症要因に気づく手法です。

さらに「ひもときシート」で知れたBPSDの要因を、ご家族やケアマネージャーと情報共有することで、施設でもご自宅でも本人が穏やかに生活できるようサポートしてまいります。



手作りのぬくもりを

あつとほーむウエスト

地域の方々とオンライン交流会で、手作りのプレゼントを贈っています。利用者さんの得意分野を活かせるよう、様々なプレゼント作りを行ってきました。

刺繍を施した香り袋や、押し花のしおり、手芸が苦手な方でも作れる入浴剤など、利用者さんだけでなく職員も楽しみながら作っています。

保育園の子供たちには、編みぐるみのキーホルダーを作り、利用者さん同士で「次はどここの保育園やる?」、「喜



んでくれるかな」と、子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべて話が盛り上がっています。

直接交流のできない今こそ、手作りのプレゼントでぬくもりを届けていきたいです。



転ばぬ先の筋力

あつとほーむ若葉

養護老人ホームでは、介護サービスを利用されている方や、認知症の方が多くいらっしゃいます。

支援員は日常生活のサポートをしています。支援ニーズが多様化しています。

毎日のふとした動作が転倒や事故に繋がることもあるため、家具や生活用品の配置など安全に気を付け、自立されていても足腰が弱って来たかなと思う方には声をかけています。

令和3年度は、転倒転落予防を目的

として、筋力をつけて頂くための取り組みに力を入れています。

毎日午後に館内放送をして筋力体操を実施し、特に転倒リスクの高い方は積極的にお誘いしています。

また、体操は単調にならないよう種類を変えて、飽きずに続けられるよう工夫しています。

毎朝ラジオ体操も頑張っている皆様ですが、今では午後の筋力体操も日課として定着し、時間に合わせて集まって下さるようになりました。

仲間がいることで運動習慣が付き、筋力アップに取り組まれています。



リモートで委員会

あっとほーむでは、ほとんどの委員会活動をオンラインで行っています。

新型コロナウイルスへの感染予防対策として取り入れ、定着しました。

利用者さんの安全や健康に関わる事故防止委員会、感染症対策委員会やよくそう対策委員会、職員の育成に関する教育委員会など16の委員会があり、各委員が部署の中心となって新しいことや課題に取り組み、情報を共

有しています。

リモート会議は、部署にしながら行えるため時間を有効活用でき、画面越しに表情が伝わることでコミュニケーションも図れます。また、資料もペーパーレスとなり、それぞれのパソコン画面に共有しながら進行できるので大変役立っています。

お誕生日

おめでとうございます！

あっとほーむ若葉

ヘルパーステーションでは、利用者さんのお誕生日にプレゼントをお渡ししています。

これまではお花の鉢植えをプレゼントしていましたが、今年からお花が石鹸でできているブーケに変更しました。

新たなプレゼントを誕生日を迎えられた利用者さんに初めてお渡しすると、「きれいー！」と大変喜んで頂け好評でした。

石鹸でできているので、お世話が不要でどこにでも飾れて、ほのかにいい香りがして癒されます。

皆さんにとって良い一年になりますように、スタッフ一同心を込めてお渡しさせていただきますね。



東湊小学校との交流

あっとほーむイースト

10月、東湊小学校3年生の代表児童が来所しました

コロナ禍で例年のように交流会が開催出来ず、今年も玄関先での短時間の交流となりましたが、児童たちの温かいメッセージと一緒に、学校で集めて下さったタオルなどを寄付頂きました。

イーストからはコロナの終息を願って製作した手作りのあまびえパネルをプレゼントしました。



早くコロナが終息し、交流会が開催できる日を楽しみにしています。
東湊小学校の皆さん、ありがとうございます。

飛び出す絵本劇場

あっとほーむウエスト

10月に「飛び出す絵本劇場」を開催しました。

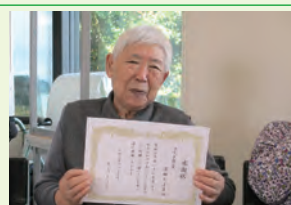
「大きなかぶ」の絵本の世界からおじいさんたちが飛び出してきて、「うんとこしょ、どっこいしょ」の皆さんの掛け声で力を合わせてかぶを引き抜きました。

役者には利用者さんもいます。驚きとともに大変盛り上がり、笑顔あふれる楽しい劇になりました。



利用者さんの歴史

あつとほーむコモドを長く利用されている濱田ちよ子様にこれまでの歩みについてのインタビューをさせて頂きました。



濱田ちよ子様 昭和3年生まれ(94歳)
七尾市矢田郷地区の飯田家にお生まれになり、20歳頃佐味町の濱田家に嫁がれる。3女に恵まれ、現在はお孫さんが9人、ひ孫さんが10人。

職員…濱田さんは、昔どんなお仕事をされていましたか？

濱田様…七尾の会社で働いていました。

職員…お仕事は大変でしたか？

濱田様…大変でした。帰宅が遅くなる和家人がよく心配していました。でも、子供たちや義母さんが夕飯を一緒に作ってくれて嬉しかったです。

職員…どんなご飯を作ってたんですか？

濱田様…家の畑で採れた野菜を使って作ってくれました。仕事を辞めてからは、舅や姑の世話をしながら、畑や田んぼをしていました。

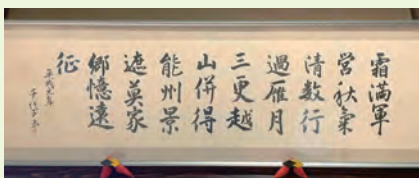
職員…濱田さんが周りの皆さんに配りが良く出来るから、周りの方も濱田さんに優しくしてくださるんですね。

濱田様…ほんなんかねえ。周りの人のことを気にすることも大事やからね。

職員…得意なことは何ですか？

濱田様…字を書くのが好きです。友達に勧められて、47歳から82歳まで習っていました。文化祭とかいろいろなところに出したりもしていました。家

にも自分で書いたものを額に入れて飾ってあります。大好きというわけではなく、あったけど、まわりの人が「書いて」と言ってくれたからよく書いていました。



ご自宅に飾られた書

職員…濱田さんがこのコモドの中で、一番長くご利用されています。長くコモドに来て頂きありがとうございますね。

濱田様…いつもありがとうございますね。これからもよろしく願いますね。

職員…こちらこそありがとうございます。これからも元気にコモドに通って下さいね！

「昔から誰のお話でも親身になって聞いてくれ、いつでも相手の気持ちになって考えてくれるお母さん」と、ご家族もその優しいお人柄についてお話しされていました。

笑顔とどけ！

施設へ気軽に会いに来て頂ける機会が少なくなった今、ご家族に安心頂けるよう日常風景をお届けする取り組みをしています。

あつとほーむレガール

コロナ禍で以前のような面会が行えない状況ではありますが、皆様の元々なご様子を少しでもお届けできるよう…。毎月の献立表にその月のお誕生者さんの素敵なショットを掲載したり、行事の様子をお届けしています。

また、定期的にお便りを発行し、お元気で過ごされている様子が伝わる様にお一人お一人の笑顔(素敵な笑顔)を掲載しお届けしております。



あつとほーむ若葉(特養)

ご家族に電話で近況報告をしています。また行事などの風景や利用者さんの写真を郵送することで、日頃の様子をお伝えできるよう取り組んでいます。ご覧になったご家族から「元気な姿や楽しんでる様子が見れてよかった」との言葉を頂いています。

令和3年度は、松茸弁当など季節の行事食、利用者さんから絶大な人気のお寿しやデザートなどのテイクアウトで、外出気分を演出したランチ企画、夏祭りや敬老会の行事、東みなとこども園さんとのオンライン交流会、プラントで野菜やお花を育てたり、イチゴ摘みなどを楽しんで頂いた様子、たくさんさんの笑顔をお届けしました。



ボランティアの受け入れについて

新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者様の健康と安全を最優先に考慮した対策を続けております。

現在、地域の方との交流や、ボランティアの皆様の施設内への来訪を休止させて頂いています。

ご寄付頂きありがとうございます

福祉の向上に心温まるご芳志をありがとうございます。

エナジー若葉 様

長谷川秀美 様

令和3年7月～令和3年12月末日まで

(順不同)

利用者さんの為になるように使用させて頂いたきます。皆様の温かい善意に感謝申し上げます。

事例研究発表を開催

サービスの質のさらなる向上を目指して、2月にあっとほーむ若葉で事例研究の成果をオンラインで発表しました。



令和3年度の取り組み

・あっとほーむ若葉(シヨート)

認知症ケアの実践に向けたチーム作り

・あっとほーむ若葉(特養)

介助による皮膚トラブル防止に向けて

・あっとほーむ若葉(居宅)

男性利用者の満足度向上と呼び覚ま

せ！頼れるお父さん！

・あっとほーむ若葉(居宅)

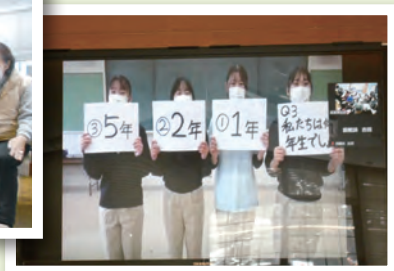
新型コロナウイルス感染症に伴う介護支援

専門員の役割とはアンケート調査及

び事例から見えてくるもの

・あっとほーむ若葉(居宅)

あっとほーむな風景



「田鶴浜高等学校2年生とのオンライン交流会」
生徒さんの進行での体操とゲーム
あっとほーむウエスト

編集後記

わかば通信を読んで頂きありがとうございます。

新しい生活様式になり2年目を迎えます。簡易陰圧機能を備えた空気清浄機や、自動検温測定器の導入など、感染症対策は常にアップデートしています。

ソフト面では、今号でご紹介したように、毎日朝夕に体操をする、普段の様子を写真や電話でご家族にお伝えする、オンライン交流会に手作りの贈り物をそえるなど、温かみをプラスした取り組みをしています。

フェイスブックでは、各施設の広報委員が、日々の出来事などを投稿しています。ぜひご覧下さい。ホームページの「トピックス」からもご覧いただけます。

文責 小山 真季



フェイスブック
QRコード

広報委員

小山 真季
鈴木奈緒子
櫻井 敦子
浜田ひとみ
今田 京子
ト部千恵美
津梅 志穂
西川 智佳

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

小規模多機能型居宅介護施設 サービス付き高齢者向け住宅 あっとほーむレガール
TEL.0767-53-0071 FAX.0767-53-0072